

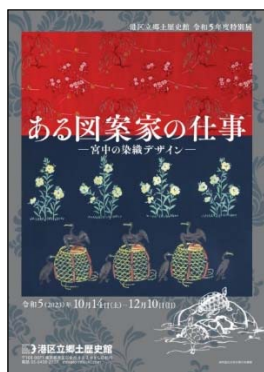
《港区立郷土歴史館 令和5年度特別展》

ある図案家の仕事 – 宮中の染織デザイナー –

10月14日(土曜)から開催

港区にゆかりある、ひとりの図案家の人生を追い、彼の遺した図案帖『國華』を紐解きます

港区に長年居住した中山^{ぎいち}宜一（1884-1970）は、富山県立工芸学校図案絵画科一期生として入学し、卒業後は上京し図案家として活動します。中山が晩年に自身で作成した図案帖『^{こっか}國華』には、高島屋から^{いしよく}委嘱を受けて手掛けた宮中の室内装飾、お好み裂、^{ぎれ}貞明皇后・^{ていめい}香淳皇后の^{こうじゆん}桂やドレスなどの図案、^{うちき}下図、^{せんしよく}写生画が収められており、当時の宮中の染織品にかかわるデザインが生まれる過程を知ることができます。この『國華』を中心に、ひとりの人物が図案教育を受け、図案家として仕事をしていく過程を、同時代の動向もふまえながら紹介します。



左から：ポスター／図案帖『國華』表紙／中山宜一の描いた洋服裂の図案／貞明皇后お好み裂の地模様

- 開催期間：令和5年10月14日（土曜）～12月10日（日曜）
- 会場：港区立郷土歴史館 特別展示室（白金台4-6-2 ゆかしの杜内）
- 開館時間：午前9時～午後5時（土曜のみ午後8時まで）※入館受付は閉館30分前まで
- 休館日：10月19日・11月16日（いずれも木曜）
- 特別展観覧料：大人 400円（320円） 小・中・高校生 200円（160円）
- ※常設展とのセット料金 大人 600円（480円） 小・中・高校生 200円（160円）
- ※（ ）内は10名以上の団体料金です。
- ※区内在住・在学の小・中・高校生、区内在住の65歳以上の方、区内在住の障害者とその介助者（1名）の観覧料は無料です（証明ができるものをご持参ください）。
- 公式サイト：<https://www.minato-rekishi.com/exhibition/zuanka.html>

